



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 4 2 1 7

ソルトレスクリヤー

1. 一般名 付着塩分抑制塗料
2. 規格 社内規格
3. 特徴
 - 1) 高い撥水性による付着塩分の抑制にすぐれている。
 - 2) 付着塩分の洗浄性にすぐれている。
 - 3) 耐候性・耐久性にすぐれている。
 - 4) N E T I S登録番号：C B - 1 7 0 0 1 5 - V R

4. 塗料性状

項 目		内 容			
容姿		2 液性			
荷姿		16 kg $\times$ 1 (主剤：12.8 kg、硬化剤：3.2 kg) 4 kg $\times$ 4 (主剤：3.2 kg、硬化剤：0.8 kg)			
色相		クリヤー			
光沢		つや有り			
密度 (23℃)	塗料	0.96			
	揮発分	0.87			
加熱残分		36%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指触	30 分	15 分	10 分	5 分
	半硬化	16 時間	8 時間	6 時間	5 時間
	標準膜厚	15 μ m			
引火点		S D S参照			
発火点		S D S参照			
爆発限界(下限～上限)		S D S参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- (1) 本製品は弊社塗装仕様のクリヤーコートシステムとして使用ください。(他社塗装仕様にソルトレスクリヤーは適用不可)
- (2) 被塗面の油、湿気、じんあい、その他の付着物は完全に除去する。
- (3) 使用時には、主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態としてから塗装する。
- (4) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。
- (5) Vフロン#100H上塗用シンナー以外のシンナーは使用しないこと。Vフロン#100H中塗用シンナーなど他のシンナーを使用するとゲル化する恐れがある。
- (6) クリヤー塗膜の補修が必要な場合は塗装間隔内で行うこと。塗装間隔を越えた場合そのまま塗装すると塗膜剥離の原因となるため、所定の補修方法で補修すること。
- (7) 仕上り塗膜は若干白濁した仕上がりになるため、上塗塗膜の色相は淡彩色を推奨する。
- (8) 他塗料塗装時ははじき要因となるため、エアレス塗装時は周辺部材を十分に養生してはじき防止対策を行うこと。また、使用後の塗装機は入念に洗浄すること。
- (9) 塗膜に侵入した腐食性イオンの無害化機能が必要な場合は、本製品に添加剤「ソルトレスクリヤー高機能添加剤」(別売)を使用ください。

5. 塗装基準

項 目		内 容			
下地処理		—			
調合法		主剤：80 部、硬化剤：20 部（重量比）			
可使用時間	5℃	20℃	30℃	40℃	
	20 時間	10 時間	6 時間	4 時間	
使用シンナー		V フロン#100H 上塗用シンナー夏型 又は同真夏型、同冬型			
塗 装 法	塗装方法	刷毛、ローラー塗り エアレス塗装 注2			
	希釈率	0% 注3 5～15%			
	標準使用量 注1	0.07～0.08 kg/m ² 0.12 kg/m ²			
	標準膜厚	15 μ m 15 μ m			
	ウェット管理膜厚	50 μ m 50 μ m			
エアレス塗装条件 注2		1 次圧 0.4～0.5MPa (4～5 kg/c m ²) 2 次圧 11～15MPa (110～150 kg/c m ²) チップNo.163-515～615			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最小	30 分	15 分	10 分	5 分
	最大	16 時間	8 時間	6 時間	5 時間

注1) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

注2) エアレス塗装の施工が必要な場合は施工上の注意(8)を参照。

注3) 乾燥遅延を目的とした希釈が必要な場合は、5%以下とする。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	S D S参照	S D S参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、S D Sをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。